

2008 年度

科目名 書誌学 A	対象学科・学年 文学部日文 2 回生 文学部文財 2 回生	担当者 宇都宮 啓吾																													
授業テーマ 書誌学の基礎知識を身につける																															
授業の概要と目標 日本の古写本や版本などの古典籍を取り扱う上で必要となる書誌学の基本的事項を出来るだけわかりやすく説明していきます。 講義には、実習形式を取り入れ、実際の古典籍にふれる機会を設けます。																															
評価方法 レポートと平常点（全講義数の 2/3 以上の出席が前提）で総合的に評価します。																															
テキスト 日本古典書誌学総説	著者 藤井 隆	出版社 和泉書院																													
参考書 講義中に、適宜、紹介します。	著者	出版社																													
授業スケジュール・内容																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>時間</th><th>テーマ</th><th>補足</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">前期導入</td><td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>全体の講義計画・評価方法等の説明</td></tr> <tr> <td>2</td><td>書誌学とは</td><td>書誌学の概要</td></tr> <tr> <td rowspan="10">講義①</td><td>3</td><td rowspan="10">書籍の形状</td><td rowspan="10"> 装訂の種類 書籍の大きさ 書籍の形状に関する部分名称 （実際に和本を作成することで、書籍の形状について体感して欲しい。） </td></tr> <tr><td>4</td></tr> <tr><td>5</td></tr> <tr><td>6</td></tr> <tr><td>7</td></tr> <tr><td>8</td></tr> <tr><td>9</td></tr> <tr><td>10</td></tr> <tr><td>11</td></tr> <tr><td>12</td></tr> <tr> <td>総括</td><td>13～15</td><td>総括</td><td>講義の総括</td></tr> </tbody> </table>					時間	テーマ	補足	前期導入	1	オリエンテーション	全体の講義計画・評価方法等の説明	2	書誌学とは	書誌学の概要	講義①	3	書籍の形状	装訂の種類 書籍の大きさ 書籍の形状に関する部分名称 （実際に和本を作成することで、書籍の形状について体感して欲しい。）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総括	13～15	総括	講義の総括
	時間	テーマ	補足																												
前期導入	1	オリエンテーション	全体の講義計画・評価方法等の説明																												
	2	書誌学とは	書誌学の概要																												
講義①	3	書籍の形状	装訂の種類 書籍の大きさ 書籍の形状に関する部分名称 （実際に和本を作成することで、書籍の形状について体感して欲しい。）																												
	4																														
	5																														
	6																														
	7																														
	8																														
	9																														
	10																														
	11																														
	12																														
総括	13～15	総括	講義の総括																												